



八戸

患者に寄り添う 立派な看護師に

八戸大看護学科
宣誓式に65人

八戸学院大(大谷真樹学長)看護学科は13日、同大で宣誓式を行い、1年間の基礎看護教育を終え、本年度から現場での実

生65人が、患者に寄り添う立派な看護師になることを誓った。

同学科は、高度な知識、専門技術を持つ看護師の養成に向け、系列の八戸学院短大から移設する形で昨年度開設。本年度は基礎となる実習を積み、3年次の後期からは小児看護など各

領域の専門的実習に臨む。

式では、同学科の教員から灯火を受け取り、学生全員が「命の重さ、責任の重さを自覚し、人々の寄り添い、心の支えとなる」などと宣誓した。

大谷学長が「ナイチンゲールのような教養のある天使として、優しく患者さんと向き合ってください」と激励。

これに対し、学生代表の関川真衣さん(20)が「患者さんと共に将来を考えられる、人間性豊かな看護師になりたい」と決意を述べた。

(大澤諒)